

よらおれね 小合

発行者 小合地域コミュニティ協議会 (コミュニティセンター内) ☎ 0250-25-2299 発行人/阿部 繁 編集/総務部	地域の人口動態
	令和3年2月末現在
	世帯数 1,255 戸
	男 1,772 人
	女 1,853 人
	人口 3,625 人

種をまく人・育てる人

小合地域コミュニティ協議会 会長 阿部 繁

「古くなっても、こぎれいに」。コミセンの老朽化が進んでいます。が、気持ちよく利用してもらうためにメンテナンスに努めています。ソフト面では「笑顔・親切・丁寧」プラス「安全」をモットーとして運営しています。登館時、最初にする仕事は正面入り口のクモの巣払いです。これから活発に活動する季節を迎えます。当然「みんなのコミセン」であり利用者からも規則を守り使ってもらうこともお願いしています。加えて、地域の自治会・町内会他諸団体の活動拠点でもあります。同時に「避難場所」としての機能も維持します。

(参考)「地域住民の連帯感を高め、住みよい地域社会づくりの推進に資するため、コミュニティ活動の中心的施設としてコミュニティセンターを設置し、及び地域に密着した施設としてコミュニティハウ

「全住民アンケート」(2019)の結果(住み続けたい50%子供にも住んで欲しい34%わからない16%)私たちの事業の目標は明確になりました。

小合に住み続けたい環境をつくることです。そのため創造が必要です。課題は多岐にわたるでしょう。①「自助・共助・公助」が基本で国や県にも関係します②自治会間に跨る要望事項の一本化と実現に向けての取り組み③R460小合バイパス早期開通による地域の活性化④東小学校に「学童保育」の開所などがあります。実現には時間を要する事業もありますが、私たちは「種をまく」人であり「育てる」人でもあります。

高齢化社会はコミ協も例外ではない。役員に求められるのは、やる気と体力である。

「なりて不足」の発生しないうちに準備をしなければなりません。隠れた人材の活用です。現役時代のスキルを活用してコミ協活動に幅広く参加できる受け皿づくりの検討も必要です。

東小学校の「学童保育」開設から見えるものは「核家族化・共働き世帯の増加」です。「子や孫は家族で面倒を見る」というこれまでの地域性の変化です。今後は、コミ協と自治会・町内会はこうした地域の情勢の変化に対応する必要があります。

健康長寿の事業では「フレイル健康教室」の開催を行政などと協働で今後とも継続して取り組みます。地域社会の体力は人の絆であると思えば、その力は地域社会の免疫力向上(安心安全)につながります。地域の人と人との緩やかな繋がりをづくり情報収集(「見えないハaines」) (筆者)。で要望や困りごとの吸い上げ支援などが

できればよいと思います。その一つの手段として「SNSの活用」(活用範囲の拡大)を検討します。

コロナ禍の時代(テレワークなどで自分の時間が増える)。多人数の集会はしばらくは無理かもしれません。「三密を避ける」などを基本に「人は遊びたい・楽しみたい・仕事だけでは生きられない」という。コミ協事業のあるべき姿を地域の皆さんとともに創造していきたい。

i 新潟市コミュニティセンター・コミュニティハウス条例1条

ii オリンピック競技の「ボルダリング(Bouldering)岩登りのこと」(最低限の道具(シューズとチョーク)で岩や人工の壁面などを登るスポーツである。語源は(大きい岩。このスポーツは垂直の壁を登る万一落下してもハaines(安全ベルト)で地面への墜落時の衝撃を緩和する用具

iii (遊ぶ人の意) オランダの歴史学者ホイジンガの用語。遊戯が人間活動の本質であり、文化を生み出す根源だとする人間観。遊戯は生活維持を求める生物学的活動を越え、生活に意味を与えるものであると主張される。

新潟市長へ R460号小合バイパス開通促進要望

1月18日(月)豪雪の中、午前9時40分から小合コミ協役員、新潟西部コミ協会長・副会長及び秋葉区選出市議会議員で新潟市役所に中原八一新潟市長を訪ね、R460小合バイパス開通と現国道の改良要望を行いました。



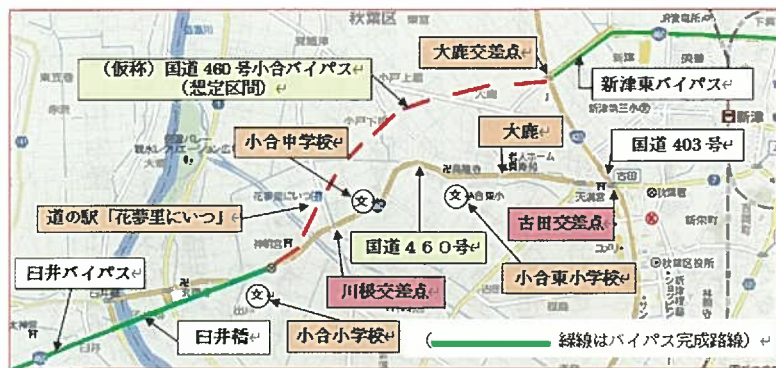
冒頭小合コミ協阿部会長から『今後20年かけて行われる県営圃場整備事業の内、小合地域で行われる「新津郷

西幹線地区圃場整備事業』が令和7年度から動き始めるので、後戻りのない様にルートを決定していただきたい。』

新津西部コミ協連沼会長からは『私たちの地域は新津駅・さつき野駅から近い住宅地域だが、古田交差点付近を中心に、狭い道路に大型トラックの流入も多くなり困っている。早期にR460バイパスを造っていただきたい。』と要望が行われました。

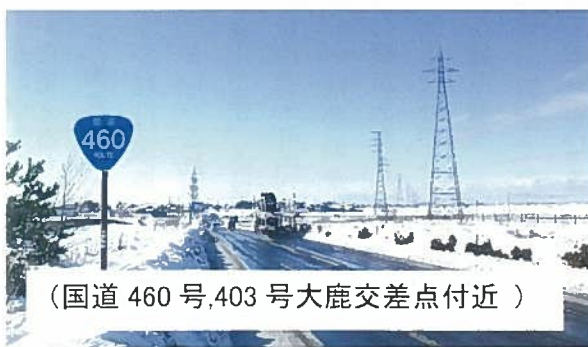
これに対し、中原市長から『R460川根交差点は平成29年度に基本設計、令和2年度に詳細設計の後改良する。震動対策も平成24年度から令和3年度で完了する予定。小合バイパスについては、周辺の中央環状道路や小須戸橋の架け替えを最優先としたが、市の財政状況や圃場整備事業を踏まえながら検討したい。』との回答でした。

※要望書要旨は次の通り
【要望1】国道460号小合バイパス(仮称)調査費の予算化を要望致します。



中原市長様からも、前回要望時、「交通安全のためにも整備を急ぐべき道路と認識している。要望をできるだけ早く実現できるように頑張りたい。」とお話を伺いましたが、今後行われる圃場整備事業が具体化されつつあり、

その時が迫って来たものと思います。
現在新潟市は財政健全化に取組んでおられ、予算編成上大変厳しい状況とは存じますが、何卒、新潟市の将来を見据え、その第一歩として調査費計上をお願い申し上げます。



【要望2】現国道460号古田交差点〜川根交差点間の整備を要望致します。

国道460号古田交差点から小合小学校までの沿線約3.7km間は、道路幅が狭くカーブも多いのに関わらず、教育

施設、介護施設、事業所、コミュニティセンター、コンビニなどが点在し、交通量や交通事故の多い道路です。



臼井橋完成後、徐々に大型車の交通量も増えており、更に事故件数が増える恐れがあります。

国道460号小合バイパスが実現するまでの間の交通安全を確保するため、現国道の改良も併せてお願い申し上げます。

小合東小学校で 学童クラブが始まりますー

1月31日(日)午前10時から小合地区コミュニティセンター大ホールで新年度開設する学童クラブ(正式名は小合東放課後児童クラブ)の保護者向け説明会が行われ、関係者から発足の経緯、目的、内容などについてお話がありました。



・小合コミ協阿部会長からは、『昨年新潟市支援の全住民アンケートを

実施したが、

これからのコミ協として、地域社会の活性化につながる事業はやらなければならない。学童クラブはまさにこれに当たる。地域、学校、行政、保護者のご協力をいただきたいながら、

保護者が安心して働きに出られるようにしたい。』

・小合東小学校熊谷校長から『昨年10月30日に小合東小学校で就学児健康診断が行われた際、保護者から、

小合東小学校に学童保育が無くてとても困っているというお話があり、直ぐにコミ協に何とか協力してもらえないかと相談した結果、わずか3ヶ月で今日の説明会ができたことに驚き、感謝している。』

・栗原市議会議員から『設立にあたって、熊谷校長の大英断とコミ協役員の方々の大きな情熱と祈願があつて今日を迎えることができたと思う。』

・熊木PTA会長から『小合東小学校は秋葉区で唯一ふれあいスクールを行っており、今後学童クラブが併設される初のケースになる。沢山の皆様にご利用いただき、地域に根差した活気あるクラブになるよう願っている。』

・小林保護者代表から『支援員や補助員の皆さんに非常な苦勞をお願いしてお引き受けいただいている。子どもを預けて終りということではなく、学童クラブが継続できるよう協力できる体制を整えていきたい。』などのお話がありました。

その後コミ協井浦副会長から新



潟市への開始届け、入会基準、運営規定、利用料、入会申請書、保護者会、今後のスケジュールなど具体的な説明があり、支援員、補助員の紹介がありました。

▼入会を希望する方は小合東小学校、小合コミセンにある申請書に必要事項を記入し小合コミ協(小合コミセン内)にご提出ください。

『あなたにエールを!』 小合クリスマス集い

令和2年12月13日(日)

コロナ禍の中、皆さんに少しでも元気を届けたいと、『あなたにエールを!』を合言葉に小合地域クリスマス集いが開催されました。

今回は小合の各自治会・町内会にある、地域の茶の間・サロンの方たちが中心になり、企画から準備、飾り付け、実行までを行いました。

【地域見守り部】



ギター演奏やキャンドルサービスで盛り上がりました



お知らせ

小合地域コミュニティ協議会

代議員総会

令和3年4月17日(土) 午後2時より開催を予定しておりましたが、今年度も昨年同様、書面議決とさせていただきます。ご了承ください。

フレイル予防教室 (第3回)

令和3年2月6日

このほど今年度第3回フレイル予防教室が開催されました。第1回目の「簡単な運動」、2回目の「食生活の改善」に続き、3回目の今回は、「歯と口のケアが健康長寿の秘訣」との内容で、歯科衛生士の柳先生よりお話をいただきました。

毎日の食事について、①ガムやスルメを噛むと唾液が多く出るので良い。②菜っ葉は茹ですぎない方が良い。③うす味が良い。よく噛むようになる。…とのアドバイスがありました。

また、歯の健康については、歯茎を糸ようじで掃除するとよいとのお話がありました。奥歯が無くなると転倒しやすくなるそうで、お口の中はいつも清潔にしておかなければと思いました。

「新潟市地域包括支援センターこすど」からのお知らせ

新潟市社会福祉協議会が委託を受け、小須戸出張所2階で高齢者支援の総合相談窓口として「地域包括支援センターこすど」を開設しておりましたが、3月31日をもって業務委託を終了する事になりました。

4月1日からは、新しい事業者のアースサポート株式会社が業務を引き継ぐ事となります。名称の変更はありません。相談先は下記の通りとなります。

◎令和3年4月1日から
住所 新潟市秋葉区小須戸3785番地1
電話番号 0250-61-1311

15年間地域の皆様には大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

◆本件についての問い合わせ先
地域包括支援センターこすど (☎61-1855)

～小合書道教室生徒募集～

実用書から芸術書まで、小合コミ協「芸術祭」にも参加、学生部では学校の習字も指導します。

場所：小合地区コミュニティセンター 集会室

時間：毎週木曜日 18時～20時30分 月4回

会費：一般 3,500円(会場費・税別)(月額)

学生 2,700円(会場費・税別)(月額)

《毛筆・硬筆 両方》

連絡・問い合わせ先：

小合地区コミュニティセンター

0250-25-2299

【編集後記】

約一年前に、新型コロナウイルスの感染が拡大し始めて小合コミ協の活動も中止や縮小になりました。

そんな中で地域に情報を発信したいと考え、2ヶ月毎に広報誌を発行してきました。



コミ協の行事として今期最後の締めくくりとなった『小合地域クリスマス集い』には、大勢の子ども達も参加してくれました。

(I)